

基礎カウンセリング

選 択

開講年次：1年次前期

科目区分：演 習

単 位：1 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：カウンセリングは、適応上の課題を有する個人が、専門家の援助を受けながら自ら課題解決を図る過程です。本講義では、カウンセリングに関する基礎的な知識として、カウンセリングが必要となる心理的な状況や症状、カウンセラーの役割などについて、ロールプレイ等の体験もふまえながら理解を深めることを目的としています。

■**到達目標**：①カウンセリングの基本的な考え方を理解すること。
②カウンセリングにおける応答について体験を通して理解すること。
③様々な対象・状況におけるカウンセリングの方法を理解すること。

■**担当教員**：

小坂 守孝

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 カウンセリングとは何か
- 第 2 回 カウンセリングの基礎理論：来談者中心療法
- 第 3 回 カウンセリングの基礎理論：精神分析理論・行動理論
- 第 4 回 ビデオで見るカウンセリングの実例
- 第 5 回 ロールプレイの方法
- 第 6 回 カウンセリングの流れ（初回面接・継続面接・終結）
- 第 7 回 気づきのためのコラージュ体験
- 第 8 回 カウンセリングにおける応答のしかた
- 第 9 回 ロールプレイ体験#1
- 第10回 対象別カウンセリングの特徴
- 第11回 カウンセリングと精神医学
- 第12回 医療現場におけるカウンセリング
- 第13回 ロールプレイ体験#2
- 第14回 カウンセリング・心理療法における最近の傾向（1）
- 第15回 カウンセリング・心理療法における最近の傾向（2）・まとめ

■**教科書**：特に用いません。必要に応じてプリント等を配布します。

■**参考文献**：前田重治（編）「カウンセリング入門：カウンセラーへの道」有斐閣選書
河合隼雄「河合隼雄のカウンセリング入門：実技指導をとおして」創元社

■**成績評価基準と方法**：講義で取り上げた理論に基づき自らの実習体験を振り返ることができ、その内容がレポートに反映されていることが求められます。出席状況を含めた授業態度（30%）、講義内の小レポート（30%）、学期末レポート（40%）により評価します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎		◎	学期末レポート	40
小テスト・授業内レポート	○	○		自己の体験を客観視でき、その内容を文章化できること	30
授業態度		○		講義・ロールプレイ体験への積極的参加	30
発表					
課題・作品					
出席				2/3以上の出席	(欠格条件)
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：

カウンセリングを理解するには、文献上の知識だけではなく体験的な学習も必要です。毎回出席することは勿論のこと、ロールプレイ体験への積極的参加を望みます。